

無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会

星野・大坂ニュース

2026年

8月号

(第15号)

2026年8月3日発行



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間3000円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)
◇ホームページ <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>



秋に始まる控訴審にむけ東京高裁前で無実の大坂正明さんの解放を訴える(7月23日)

高市政権は第221特別国会で国家情報会議設置法、国旗損壊処罰法、改定刑事訴訟法(再審法)、改定皇室典範など、戦争法を次々と成立させました。「国論を二分する」はずが、政府提出法案の成立率は100パーセント。完全な戦争翼賛国会です。高市は中国侵略戦争＝核戦争に国家の命運をかけて突っ込んでいます。「平和のために軍拡・核武装が必要」「軍事産業で経済成長」「自衛隊への差別(抗議活動)を許さない」「2600年続く皇統」などという侵略戦争のための主張を、労働者民衆の根底的な怒りで粉碎しつくそう。

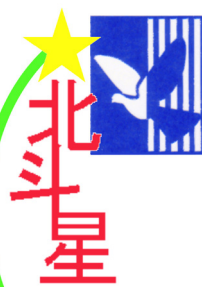
10月に始まる大坂正明さんの控訴審は、戦争を決断した国家権力との全面激突です。この夏、歴史を決する反戦闘争に立ち上がる。星野国賠勝利をもぎとった民衆の力的一切を大坂さん奪還へ！ 8月29日の全国総会に集まり、大坂さんを取り戻す大決戦に全力で突入しよう。

8・29 大坂控訴審決戦の勝利へ全力を 星野・大坂総会に集まろう

今日の紙面

8・29総会に集まり大坂控訴審勝利へ
東京高裁へデモ、街宣行動強める
獄中処遇との闘い／墓前に勝利を報告
中国侵略戦争阻止へ連日の決戦
絵画展報告 北海道／九州
絵画展報告 埼玉・狭山／大阪市

…2
…3
…4
…5
…6
…7



星野・大坂全国救援会
事務局長

小泉義秀

小泉進次郎防衛相はインターネット番組で核兵器について「あらゆる政策をタブーなく議論し、進めなければいけない」と語った。日帝は中国侵略戦争に向かって非核三原則の解体―核共有・核武装へと突き進んでいる▼いま改めて1971年11・14闘争とはどういう闘いだっただのかを捉え返したい。沖縄では復帰前、辺野古弾薬庫や嘉手納弾薬庫に、ピーク時1300発もの核兵器が貯蔵されていた。1959年には米軍那覇飛行場配備のミサイルが核弾頭を搭載したまま誤射を起こし、海に落下する事故が起きた▼62年、米ソが全面

戦争の瀬戸際に至ったキューバ危機の際、米軍内でソ連極東地域などを標的とする沖縄のミサイル部隊に核攻撃命令が誤って出され、現場指揮官の判断で発射が回避されるという出来事もあった。沖縄の核兵器は日本復帰の際に撤去したとされるが、客観的に証明されていない▼一方で当時の佐藤栄作首相はニクソン米大統領との間で有事の際には沖縄に核を持ち込めるという密約を結んだ。密約は今でも生きている▼「沖縄の永久核基地化粉碎、本土復帰・基地撤去」「沖縄奪還、安保粉碎・日帝打倒」の71年11・14の返還協定批准阻止の闘いは55年を貫く今現在の闘いである。大坂正明さんを絶対に取り戻そう！

星野国賠勝利の力で大坂奪還へ

8・29全国総会の課題

星野国賠の歴史的勝利

星野国賠控訴審は、判決で国のデタラメな主張をすべて退け、一審判決を維持する大きな勝利を勝ち取りました。控訴審判決は徳島刑務所長の通知義務違反も維持し、徳島刑務所の対応に問題があることも基本的に認めました。劣悪な獄中医療にくさびを打ち込むものであり「刑務所だから仕方がない」という論理は通用しないことを明確にしました。この勝利を、獄中で不屈に闘う大坂正明さん奪還につなげよう。



控訴審判決に向かう救援会（6月26日）

今年の全国総会は、この勝利を切り開いた私たちの運動と力をしっかりと総括・確認し、10月に控訴審が始まる大坂正明さんを絶対に取り戻す闘いへと発展させる重要な総会です。帝国主義の侵略戦争が世界戦争へと発展し、高市政権が改憲と戦争にしゃにむに突き進む中、労働者民衆はこれと対決し国会を取り囲む闘いを発展させています。

「一審判決を覆すことができます。力は、反戦闘争、とりわけ沖縄闘争の勝利、あるいは高揚の中に……今日の沖縄闘争の勝利が私の裁判闘争の勝利をも切り開く」と訴える大坂正明さんと心ひとつに、8月29日、亀戸文化センターに集まり、この時代に求められる運動への転換と飛躍へ大きく踏み出そう。

運動の原点Ⅱ渋谷暴動闘争

総会の重要な議論として、運動の原点Ⅱ11・14闘争をとらえ返そう。星野文昭さん、大坂さんはなぜ沖縄返還協定批准阻止



渋谷暴動闘争で機動隊を蹴散らすデモ隊

闘争に立ち上がったのか。沖縄の人々が置かれた現実と沖縄戦の歴史を知り、日米安保の矛盾と犠牲の集中心である沖縄の闘いが社会を変革する契機を内包していることをつかんだ青年・学生らにとって、米軍支配からの解放を求める民衆の実力決起が島ぐるみ闘争として発展し日米安保を根幹から揺るがす中、その勝利のために沖縄民衆と連帯し、すべてをなげうって闘いに立ち上がることは当然のことでした。文字通り「居ても立ってもいられなかった」のです。

「沖縄の永久核基地化粉碎、本土復帰・基地撤去」「沖縄奪還、安保粉碎・日帝打倒」を掲げた労働者民衆の実力闘争は、中国侵略戦争Ⅱ核戦争と対決する私たちの今現在の課題です。

中国侵略戦争と対決し 戦時司法をぶっ飛ばす

星野国賠控訴審に勝利した地平から、大坂正明さんを絶対奪還する大決戦へ、運動の転換と新たな発展を目指そうという議論も始まっています。たとえば絵画展運動は、徳島刑務所包囲デモや更生保護委員会闘争で法務省に星野解放を迫る闘いの発展を切り開くなど、歴史的に大きな役割を果たしてきました。今日では大坂署名や沖縄反戦企画とセットで、各地で創意工夫を凝らして取り組まれています。

しかし今日の高市政権による改憲・戦争攻撃の激しさに、これまでの延長で大坂さんを取り戻せるのか。どうやって中国侵略戦争下の司法反動をぶち破っていくのか、大いに議論し方針を作り上げたいと思います。

星野と大坂の救援会の統合から1年、大坂裁判への取り組みの転換が進むなど、各地の救援会で大きな前進を勝ち取っているといます。今年の全国総会ではこの1年間の活動報告を出すだけでなく、この情勢下

でいかなる闘いを展望するのか、積極的な意見や方針提起を持ち寄り、議論しよう。

東京高裁前に登場し 大坂奪還一色に染めよう

国家権力が大坂控訴審で即日結審、控訴棄却を狙っていることは明らかです。8・6ヒロシマ暴処法弾圧裁判や、動労総連合の解雇撤回裁判での裁判所の反動的動きなど、中国侵略戦争下で司法反動は強まっています。「大坂さんは無実だ！ 高裁は事実調べを行え」という闘いを、迫力ある全国の労働者民衆の実力闘争として集中的に作り上げ、その爆発的な熱意で東京高裁を圧倒する闘いを、この夏から秋に作り出そう。

この夏、中国侵略戦争を阻止する反戦闘争の爆発へ、一大決戦を闘いぬこう。8・29全国総会を大坂奪還の総決起集会として勝ち取り、反戦闘争の爆発と一体で東京高裁前に登場し、大坂さん奪還へ全力で突撃しよう。

星野・大坂全国救援会 総会

8月29日（土）午前11時開始

亀戸文化センター 第1、第2研修室

控訴審勝利へ東京高裁へ闘い強める

救援会が東京高裁前を制圧 大坂さんの無実を強く訴え



大坂さん奪還の大決戦へ、高裁前連続街宣開始（7月9日）

7月9日、無実の大坂正明さん控訴審勝利へ、東京高裁前街宣を闘いました。控訴審の期日が10月2日に決まったことを受け、裁判所に対する行動を強める連続街宣行動の1回目です。裁判所前でアピール力を高めようと、一審の裁判で明らかになった大坂さんの無実を示す大きなボードを準備しました。「現場写真に1枚も写っていない」「供述調書は検事の作文」「暴力

と脅迫で目撃供述を捏造」という、大坂さん無実のゆるぎない事実を視覚的にも訴えました。東京東部、西部、北部、三多摩、神奈川、千葉など関東各地の救援会の仲間が駆けつけ、積極的マイクを握り、大坂さんの解放を求める熱い思いを次々と東京高裁にぶつけました。「大坂さんは無実だ。裁判無視の一審判決許さない。東京高裁は事実調べを行え」「渋谷暴動闘争は正義だ。戦争に突き進む高市政権を倒せと、いま多くの人が国会前に集まっている。労働者民衆の闘いを国家権力が裁くことはできない」

大人数での街宣は注目度抜群で、裁判所前を通るほとんどの人がビラを受け取りました。この日の街宣では星野国賠を担当した東京高裁の裁判長も通りかかりました。裁判所は街宣の人数、訴えの中身や民衆の反応をととても気にしています。東京高



国賠勝利から大坂奪還へ、熱い思いでデモ貫徹（7月23日）

裁に事実調べを行わせる力強い街宣行動を目指した連続行動の第一弾は大成功しました。無実の大坂さん解放へ、多くの皆さんの参加を訴えます。

酷暑に負けずデモと街宣

7月23日は気温が38度に迫ろうという猛烈な暑さの中、40人が集まり東京高裁包囲デモと街宣を闘いました。

デモに先立ち、星野暁子さんから国賠勝利の報告が行われました。「文昭の墓前に、仇はとつたと報告した。この勝利を、今も東京拘置所の劣悪な処遇の中で闘い続ける大坂正明さんを取り戻す力にしよう。文昭を虐殺した徳島刑務所を最後まで追及

するため上告した。大坂控訴審勝利へ、ともに闘おう」

デモは星野国賠の勝利を高らかに宣言し、法務省徹底弾劾、無実の大坂正明さん即時解放を訴え、霞が関を力強く進みました。

デモの後の街宣は、大坂さんの無実を訴えるメッセージボードの数をさらに増やし、東京高裁前で25人がスタンディングを行いました。道の両側にずらりと並ぶ「大坂無実」のメッセージは迫力満点です。何人もの方が強い日差しの中でも足を止めて署名に応じました。

署名をさらに積み上げよう

無実の大坂さん解放を求める署名は、ついに1万筆を突破し

ました。控訴審開始まで、さらに全国の労働者民衆の怒りを組織し、東京高裁に大坂さん解放と裁判での事実調べを迫ろう。



メッセージボードと横断幕でアピール（7月23日）

大坂さん奪還へ闘い強めよう 全国救援会ゼッケン&のぼり



大坂さん奪還の大決戦到来！ 全国救援会の新しいゼッケンで東京高裁へ攻め上ろう！ W420mm×H590mm。カバンを背負っていても着用できる、ゆったりした大型サイズです。大坂奪還のぼりも準備しました。ゼッケン1枚 2000円、のぼり 1000円。お申し込みは救援会まで。総会でも販売します。

東京拘置所は獄中者の命と人権を守れ！

無実の大坂正明さんは未決であるにもかかわらず、東京拘置所に9年間も勾留され続けています。大坂さんはぜんそく、鼻

のポリープ、緑内障に加えて最近では耳の不調を訴えています。しかし東拘では耳鼻科の医師が

問診のみ行い「詳しい検査はできないので、治療はできない。様子を見てくれ」と言い放ちました。鼻ポリープ治療を訴えた時

も「ここでは治療はできない」と言い、手術要請を二度に渡って不許可。医療放置しています。緑内障では一般的な薬は処方されますが、きちんとした検査が行われたことはありません。

星野文昭さんはでたらめな獄中医療で殺されました。国賠控訴審での私たちの勝利は、「刑務所だから仕方がない」は通用しない（土田元哉弁護士）ことを国に突きつけ、病気で苦しむすべての被収容者の希望となっています。星野国賠の勝利を大坂さん奪還・大坂さんの命と健康を守る力にして闘いを進めましょう。東京拘置所はまともな

医療を行え！ 私たちはどこまでも闘います。

救援連絡センターが獄中者にアンケート

救援連絡センターは大坂さんが東拘の劣悪な処遇を訴えたことに対し、東拘在監の『救援』読者に①昼間の消灯問題、②外の廊下に設置されているカーテンの問題、③室外運動の回数の激減問題、④食事についての意見、⑤物品の購入問題についてアンケートを実施し、全員から回答が寄せられました。

アンケートの回答からわかったのは、①昼間の消灯は東拘全体で行われていること、②カーテンは西側の窓のみ設置されていること、看守が開け閉めしないこと、③室外運動が3分の1に減ったことに多くの被収容者が怒っており、「これは虐待だ」と日弁連へ人権救済を申し立てて受理された方もいること、④食事の劣悪化は誰もが感じていること、⑤物品購入は今年4月からの業者の変更で価格の大幅

な上昇、品目の減少、受付日の減少といった不便を強いられていることです。

劣悪な獄中処遇を変えるため、救援連絡センターと共に闘おう。処遇の一部改善勝ち取る

大坂さんから「昼間の消灯は看守に要求したら電気をつけるようになった」と報告がありました。

この勝利を大坂さん奪還へ生かそう

星野国賠原告 星野暁子

星野文昭虐殺に対する国の責任を問う控訴審勝利判決の報告を、友人たちと一緒に文昭の墓前にしてきました。群馬県のJR駒形駅近くにある安養院です。文昭は奥深山幸男さんと一緒にそこに眠っています。「控訴審も勝ったからね。文昭の仇は討ったからね」と報告しました。



星野文昭さんの墓前に救援会の仲間と勝利を報告（7月1日 群馬・安養院）

激しい息遣いの中で、初めて手を握り合ったこと、そして迎えた2019年5月30日夜、あの時の悲しみと怒りを忘れることはできません。さんざん待たされたあぐく対面した文昭はすでに「死装束」を着せられていました。医療センターの医師は解剖を拒否し、「朝10時までに遺体を引き取れ」と言ってきました。その時すでに深夜0時を過ぎていました。医療センターの門前でたった一人で待っていてくれた大畠信子さんも、今回の報告に同行してくれました。

被告・国は、昨年3月24日の一審判決を覆すためにデタラメな主張を並べ立てました。福岡刑務所の医師が書いた意見書に基づいて「手遅れ」論を展開し、

した。獄内外一体となった闘いの成果です。一方、外廊下のカーテンは今年も7月7日に設置され、閉めっぱなしにされているそうです。劣悪な処遇で被収容者への虐待を続ける法務省・東拘を許さず闘いを強めよう。

「どんな優秀な医師が完璧に対応したとしても結論は変わらなかった」と主張してきました。

これらすべてを控訴審判決は否定し、一審判決を維持しました。あまりにも劣悪な日本の獄中医療にクサビを打ち込む勝利だったと考えています。実際に、横浜刑務所を満期出獄した須賀武敏さんは、変化を実感したといっています。未決勾留9年、劣悪な東京拘置所で不屈に闘っている大坂正明さんを取り戻すために、この勝利を生かしていくことを文昭の墓前に誓いました。徳島刑務所の責任を追及するために、私は原告として上告しました。控訴審判決が受刑者の期待権を法的保護に値するとした意義は大きいですが、肝臓が巨大になるまで放置した徳島刑務所の責任については判断していないからです。どこまでも追及したいと思います。

労働者民衆の実力決起で 中国侵略戦争絶対阻止へ

反戦女性デモが大高揚
街頭の怒りと一つに

東京杉並の高円寺で7月4日、



初参加者や飛び入りであふれたデモ（7月4日）

3・8国際婦人デー実行委員会
が呼びかけた反戦女性集会とデ
モが行われました。「米日の中国
侵略戦争阻止！ 戦争と差別の
元凶「天皇制打倒」の鮮明な訴
えが街頭にとどろきました。

集会には、この間、国会前行
動で出会った青年、女性らが何
十人も初参加。右翼の妨害を蹴
散らして進むデモ隊を見て、さ
らに街頭からも続々と合流し、
320人が「トランプ・高市を

倒して戦争を止めよう」「帝国主
義を打倒し、女性の解放をかり
とろう」と解放的なデモを闘い
取りました。

反戦反核訴え渋谷でデモ

7月25日、改憲・戦争阻止！
大行進東京が主催する反戦反核
集会・渋谷デモが180人の結
集で開われました。



夜の渋谷で反戦反核を訴える（7月25日）

集会では「8・6ヒロシマを前
に、小泉防衛大臣が『タブーな
く核の議論を』と主張し、中国
侵略戦争が核戦争として遂行さ
れようとしている。侵略と被爆
の歴史を繰り返してはならない。
核と戦争の元凶・帝国主義を打

倒するまでやむことのない被爆
者の怒りの原点に立ち、戦争式
典を粉碎する実力デモを闘お
う」と、8・6（8・9闘争の課
題と方針が提起されました。

NAZEN（すべての原発い
ますぐなくそう！全国会議）の
織田陽介事務局長が登壇し「ア
メリカがサウジアラビアと原子
力協定を結ぶと発表した。ウラ
ン濃縮と使用済み核燃料再処理
の放棄を条件に含まないという。
アブラハム合意（イスラエルと
の関係正常化の枠組み）への参
加が条件だという。米帝はイラ
ンの核施設への爆撃を強行しな
がら、サウジの核開発を後押し
する。すべては中国侵略戦争の
ためだ」と核をめぐる情勢を提
起。小泉防衛相発言を弾劾し「政
府によって『ヒロシマ・ナガサ
キを二度と繰り返さない』とい
う言葉の意味が、『中国を核戦争
でやつつける』ことにすり替え
られようとしている。帝国主義
打倒の大決戦として8・6を闘
おう」と力強く訴えました。

集会後は夜の渋谷の街をデモ
行進。中国侵略戦争「核戦争阻
止へ」新たな仲間を組織して8・
6の歴史的決戦に集まろう」と
参加者は決意を新たにしました。

動労総連合 国鉄1047名解雇撤回裁判控訴審

証人採用拒否に転じた東京高裁弾劾

国鉄1047名解雇撤回裁判
の第3回控訴審が7月16日、東
京高裁第24民事部で開かれまし
た。動労千葉・動労総連合は労
働組合の力をいかに発揮し、
署名や東京高裁デモの闘いを積
み重ね、控訴審で警備法廷を粉
砕したり、原告が求める証人の
採用を裁判長が明言するまで闘
いを進めてきました。

裁判長交代で前代未聞の 訴訟指揮を強行した高裁

前回1月の裁判で前任の東亜
由美裁判長は「JR設立委員会
による不当労働行為があったと
いう原告の主張を中央労働委員



裁判後の報告集会で発言する動労千葉の関東
利委員長（7月16日 日比谷図書文化館）

会とJR東日本が認めないなら、
証人尋問を行う」と明言してい
ました。3月に交代し新たに着
任した阪本勝裁判長は、前裁判
長の方針から一転、井手正敬（J
R西日本元会長）と深澤祐二（J
R東日本元会長）の証人尋問を、理
由も告げずに却下する暴挙に出
ました。弁護士団は直ちに3人の
裁判官の忌避を申し立て、審理
がストップ。法廷は30分にわた
り裁判官を弾劾する激しい抗議
の声に包まれました。

裁判後、日比谷図書文化館で
行われた報告集会で動労総連合
の田中康宏委員長は「前裁判長
が明言したことを、後任の裁判
長がひっくり返す。前代未聞の
暴挙を国家権力があえて行った。
そこまでして何を隠したいのか。
JRの側に不当労働行為があつ
たという事実だ。労働組合を解
体し、団交権まで奪う労組法改
悪攻撃の先頭にJR・社友会が
いる。これは中国侵略戦争に突
き進む国家権力との闘いだ」と
提起。東京高裁をさらに追い詰
め闘う決意を皆で固めました。

絵画展

青年・女性の決起を
実感した過去最高の絵画展

北海道 鈴木潤

北海道星野文昭さんを救う会
結成30年目の星野文昭札幌絵画
展は7月12、13日の2日間、チ
カホ（札幌駅前通地下歩行空間）
で開催され、来場者355人（12
日1205人、13日1150人）
で過去2番目（1番目は昨年の
370人／チカホで3日間、3
番目は2019年の315人／
札幌市資料館で3日間）、1日当
たりの入場者は12日の205人
が過去最高となりました。

大坂正明さん解放署名は2日
間で計60筆集まりました。昨年
の67筆に次ぐ史上第2位。昨年
までの3日間を2日間に短縮し
ての開催なので、実質的に史上
最高の出来です。スタッフは皆
署名を終えていて、今年はすべ
て来場者から得た署名です。

会員、協力スタッフの皆さん
の奮闘と、通行人の方々の関心

の高さが結合して、これまでで
最高の絵画展を実現することが
できました。昨年までは店番が
1人だけだと入場の敷居が高く
なる傾向がありました。各自
が受け持ち時間を延長して頑張
り、常時3～5人がいる状態で、
吸い込まれるようにして入場者
が訪れました。会員以外の協力
者の方々も予定を超えて長時間、



店番を担ったことがこの成果に
つながりました。

全体的な総括はこれからです
が、私の担当した時間に訪れた
方たちの傾向を述べます。

ついに青年の積極的な入場が
始まったことが最大の成果と言
えます。高校生や20代の青年は、
『前進』チャンネルなどで星野さ
んや大坂さんのことを知ってい
て、自分も何かしたいという意
欲を持ち、個人情報がこのよう
のと逃げることなく署名して
くれました。次に年齢層を問わ
ず女性の来場が多かったこと。

ほとんどの方が冤罪事件の多さ
や戦争の切迫を感じていて説明
は不要。絵に込めた文昭さんの
暁子さんへの思いに涙ぐむ人も
従来のように70年闘争経験者だ
けでなく、これまで活動してい
なかった人たちも多数。星野さ
んや大坂さんのことを知らない
という入場者がほとんどでした
が、印象的だったのは『圧殺の
森』を知る高崎経済大学の星野
さんの先輩が「70年闘争の時期
はノンポリだったが、今は何か
しないといけないと思う」と語
っていたことです。激動の時代、
人々が動き出していることを実
感。その中に星野・大坂救援運

動発展の展望を見出すこともで
きました。

余談ですが、平日の13日は夕
方の通勤・通学者の多くが疲れ
果てて家路を急いでいるように
見受けられ、それは入場者数の
少なさに現れています。会場使
用料の高い日曜日を敢えて組み
込んだのは正解でした。

九州絵画展で中国侵略の 731部隊の実態を講演

九州 吉田光男

今年で14回目を迎えた『星野
文昭絵画展』は「戦雲払う」を
テーマに西南学院大学・西南コ



731部隊の報告をする牧瀬昭子さん

コミュニティセンター多目的室を
会場に6月27日に開催しました。
会場には星野文昭さんが沖縄闘
争の勝利を確信して獄中で描か
れ「遺作」となった絵画を展示
し、隣で沖縄闘争のビデオも上
映しました。

午後からは記念講演会として
前半に、東京と福岡の絵画展会
場をインターネットで結び、星
野国賠原告である星野暁子さん
がパソコン画面を通じて登場し
前日6月26日の控訴審判決につ
いて「ズーム会見」が行われま
した。その後、当会代表・野中
宏樹さんがインタビューを行う
形で、国家賠償請求訴訟に至る
動機や、暁子さんが星野文昭
さんと獄中結婚された経緯な
どが質問され来場者から高い
関心が寄せられました。

また講演会後半では、講師
に野中宏樹さんとともに反原
発闘争などに関わっている牧
瀬昭子さん（佐賀県鳥栖市市
議会議員3期）をお招きし
『731部隊から考える戦争
と命』Ⅱ敗戦から80年、現地
を訪ねてⅡを演題に講演して
いただきました。

牧瀬さんは、昨年に中国
へ旅行した際にハルビン近郊

に旧日本軍が設けた「731部隊」博物館を訪問。ジュネーブ条約をかくぐって日本は中国侵略の過程で非道な細菌爆弾の人体実験を行っていたのですが、「部隊の活動内容を詳しく知らないまま訪れ、あまりにも残酷な内容に驚いた」と報告。展示物は撮影が禁じられていたものの、細菌戦用の生物兵器研究・開発の説明文を紹介。現地の方との交流も報告されました。

狭山事件・イラン戦争 パネル&星野文昭絵画展

星野文昭絵画展☆
狭山実行委員会 高橋純子

7月19日、狭山市市民交流センターにおいて3回目の絵画展を「沖縄・日本を侵略出撃基地にさせない!」「星野文昭さん、大坂正明さん、石川一雄さんは無実」をテーマに開催し、62人の来場者がありました。

文昭さん、暁子さんの「絵と詩」、大坂正明さん無実の訴え、石川一雄さんを部落差別によって殺人犯にでっち上げた狭山事件、沖縄の侵略拠点化の現状を伝えるパネ



ルも展示され、これらがすべて底流でつながっていることが良く分かりました。1971年、沖縄のベテンの返還に反対して立ち上がった星野さん、大坂さんの闘いは、今を生きる私たちに「何をなすべきか」を指し示しています。

2月28日、アメリカによるミサイル攻撃で犠牲になったミナブの子どもたちの愛くるしい写真の前では言葉を失いました。この日来てくださった在日イラン人女性のお話は、優しい口調の中に「アメリカ・イスラエルに死を!」と叫ぶほどの激しい怒りを示し、また私たち日本人に行動を迫るものでした。

狭山・大坂弁護団の山本志都弁護士のお話は、どうやって冤罪が作られていくのかが具体的に話され、国家権力の恐ろしさを実感しました。

高市政権は憲法に抵触するような法律を矢継ぎ早に成立させています。マスメディアもその中身、問題点などほとんど伝えず、高市政権を批判しません。「戦時体制」への突入を許せません。討論と行動を継続しようと思います。

「沖縄から戦争が始まっている!」 大阪市絵画展

大阪市 木岡信子

6月27日、5回目の住吉区隣保館での絵画展です。今回は「沖縄戦と今の沖縄」にテーマを決め、星野文昭さん大坂正明さんの積年の思いを重ね、「沖縄が中国やイランへの侵略戦争の出撃基地になっている」「多くの人々にどう訴えたら、戦争絶対反対の行動につながるのか」「署名の集め方は?」「誰もが見る掲示板にポスターを貼る」など沖縄への熱い思いを込め、会員みんなで沖縄の現実を学び、行動する

絵画展になりました。

今年の5・15沖縄闘争は、1970年代の実力闘争として勝ちとられ、辺野古闘争への不当な解体・弾圧攻撃に屈しない座り込み闘争に3名の会員も参加しました。さらに沖縄復帰前から沖縄に連帯し何度も足を運ばれ、辺野古基地建設にも「ヘリ基地反対協議会」のおじい、おばあらと苦楽を共にし、今でも辺野古に行かれ共に闘っていらつしやる方から報告を受ける機会にも恵まれました。

静かに語られる一つ一つのお話から、沖縄戦で荒廃した沖縄と、復帰前後の沖縄の様子。何より戦争責任は天皇にあると沖縄を売り渡した天皇メッセージへの批判。辺野古が普天間飛行場の代替ではなく、米軍の強襲揚陸艦などの係船機能付き護岸・弾薬搭載エリアとして目的が変更されていること。キャンブ・ハンセンとシュワブを結ぶ道路を作り辺野古一帯が米海兵隊や自衛隊の一大基地になるうとしている。高齢のおじいおばあ健康を気遣いながら、いよいよ正念場の闘いであると訴えられました。



改めて星野・大坂さんらの長期投獄、人生かけた沖縄闘争が一つとなって一人ひとりに「沖縄闘争とは何か」問い直す絵画展になりました。

最後は恒例の三線演奏。今回はラップも入り、沖縄民謡や「さとうきび畑」を全員で大合唱。3カ月準備した絵画展は大成功です。

私たちはこれからも引き続き住吉隣保館での6回目の絵画展を予定し、12月に開催いたします。大阪市星野・大坂さん取り戻す会は10月から始まる控訴審勝利と大坂さん奪還闘争にさらなる団結深め闘って行きます。

インフォメーション

■中国侵略戦争＝核戦争阻止 8・6ヒロシマ大行動

8月5日(水) 午後6時 原爆ドーム前前夜決起集会&デモ
 8月6日(木) 午前7時30分 高市首相弾劾・戦争式典粉碎
 デモ／原爆ドーム前北側集合、8時デモ出発
 午後0時30分 8・6ヒロシマ大集会
 広島県立総合体育館小アリーナ(広島市中区基町4-11)
 午後3時 8・6ヒロシマ大行進(原爆ドーム前へデモ)
 主催 8・6ヒロシマ大行動実行委員会

■被爆81周年8・9ナガサキ反戦反核行動

8月9日(日) 午前10時 爆心地公園集会 - 高市打倒デモ
 午後1時30分 反戦反核集会 長崎県総合福祉センター
 主催 8・9ナガサキ反戦反核行動実行委員会

■大坂正明さん奪還！中国侵略戦争阻止 渋谷街宣

8月13日(木) 午後1時から2時 渋谷駅ハチ公口駅前広場

■8・15反戦デモ

8月15日(土) 午後6時 リレーアピール 新宿駅東口
 午後7時 デモ出発

主催 改憲・戦争阻止！大行進

■控訴審勝利 大坂正明さん解放 東京高裁包囲デモ

8月20日(木) 正午、日比谷公園霞門集合
 デモ終了後、東京高裁前で街宣

■控訴審勝利 大坂正明さん解放 東京高裁前街宣

8月27日(木) 午前11時30分～午後1時 東京高裁前

■星野・大坂全国救援会 2026年総会

8月29日(土) 午前10時開場、11時開会
 亀戸文化センター(JR亀戸駅北口徒歩1分)

■三多摩絵画展

9月24日(木) 正午～午後6時
 25日(金)、26日(土) 午前10時～午後6時
 小金井宮地楽器ホール(武蔵小金井駅南口徒歩1分)
 主催 三多摩星野絵画展実行委員会

■星野さん・大坂さんとり戻す関西連絡会(準)総会&大坂さん奪還デモ

9月27日(日) 午後3時 関西連絡会総会
 大阪PLP会館5階大会議室(大阪市北区天神橋3-9-27)
 午後4時45分 大坂さん無罪・奪還！控訴審勝利！大デモ
 主催 無実の政治犯 星野文昭さん・大坂正明さんを取り戻す
 関西連絡会(準)

■大坂裁判控訴審 第1回公判

10月2日(金) 午後2時30分 東京高裁 429号法廷



「沖縄の光のなかの果物たち」

絵 星野文昭 2009年制作

沖縄の果物が、丁寧に描かれている。「文昭の絵は光を描いている」と
 言った人がいたが、この絵は、文字どおりそういう絵だ。 星野暁子

大坂控訴審絶対勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

控訴審の期日も決まり、いよいよ無実の大坂正明さん
 をとり戻す大決戦が到来しました。不当逮捕から9
 年、一審懲役20年のでっち上げ判決から2年8カ月。
 供述調書のでっち上げを粉碎すべく、大坂さんと弁護
 団は全力で闘いぬいてきました。大坂さんは東京拘置
 所の劣悪な獄中処遇の中、星野文昭さんの闘いを引き
 継いで非転向を貫き、闘っています。不屈の獄中闘争
 に応え、救援会は総決起しよう。

皆様のカンパに支えられ、星野国賠は地裁に続き高
 裁でも勝利判決をかちとることができました。大坂さ
 んも獄中で大いに喜んでます。

徳島刑務所問題を最後まで追及すべく上告した星野
 国賠の闘いと、秋からの大坂裁判の控訴審闘争を支え
 る費用が必要です。現在、230万円集まっています。総
 会までに300万円を達成し、大坂さん奪還へ進もう。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

大坂正明さん解放署名

7月27日現在 **10310筆**

ついに1万筆突破！控訴審勝利へさらに署名を集めよう

大坂裁判勝利へ！夏の決戦方針

8月13日(木) 渋谷街宣

午後1時から午後2時 渋谷駅ハチ公前

8月20日(木) 東京高裁包囲デモ

正午 日比谷公園霞門集合

8月27日(木) 東京高裁前街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

8月29日(土) 星野大坂全国総会

亀戸文化センター 第1、第2研修室

9月3日(木) 東京高裁前街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

10月2日(金) 控訴審第1回公判

正午、日比谷公園霞門集合・高裁包囲デモ、裁
 判所前大集会／午後2時30分、429号法廷